

# 「20 世紀フランス詩における抒情性の危機と再生」

日時：3 月 16 日 (土) 14:00 ~ 17:00

場所：神戸大学 文学部 B 棟 1 F B135 教室

## 1. 「死者に捧げる詩の言葉—フィリップ・ジャコテの場合」

発表者：中山 慎太郎 (学習院大学ほか非常勤講師)

## 2. 「情動と現実のあいだ—ルヴェルディのリリズム」

発表者：山口 孝行 (筑波大学大学院博士課程修了)



主催：神戸大学 大学教育推進機構 廣田研究室  
共催：神戸大学人文学研究科フランス文学研究室、フランス抒情詩研究会  
※本シンポジウムは、フランス抒情詩研究会の第 2 回研究会としての開催を兼ねています。

※シンポジウム後、JR 六甲道駅付近にて、懇親会を予定しています。予約の都合上、参加を希望される方は、3 月 11 日 (月) までに、廣田まで参加のご連絡をお願いいたします。

### 会場までの道のり案内

徒歩プラン (左図みどり線)：阪急「六甲」下車後、徒歩 15 分 (後半非常に急な上り坂のため、体力のある人のみ可)。

バスプラン (左図あお&あか線)：阪急「六甲」下車後、徒歩 3 分、神戸市バス「阪急六甲 (駅北側)」にて 36 番に乗り (約 5 分)、「神大文理農学部前」下車後、徒歩 5 分。(同 36 番バスは JR「六甲道駅」からも出ています)

### 問い合わせ先

廣田大地 (神戸大学大学教育推進機構国際コミュニケーションセンター、メール：hirotadaichi アットマーク ruby.kobe-u.ac.jp)